

校長室だより
第 109 号

榎並っ子

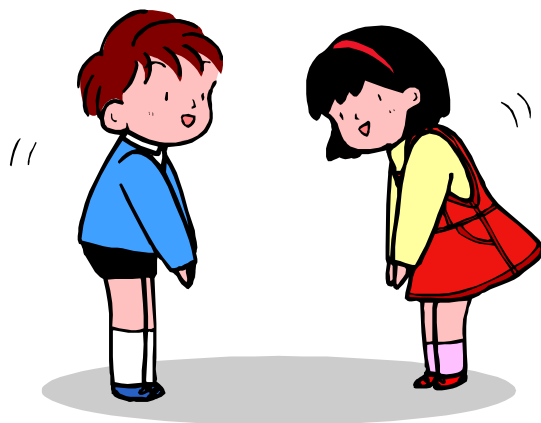
平成19年1月11日

大阪市立榎並小学校長 小林恵子

千里の道も一歩から

明けましておめでとうございます。みなさまお揃いで、よい新年をお迎えのことと思います。今年こそ、幸いの多い年でありますようお祈りいたします。

始業式の日、やや寒い日でしたが、子どもたちは、元気に登校してきました。A校舎改築のため仮の正門となった講堂横の南門で子どもたちを出迎えたのですが、「おはようございます。」とあいさつをする子、また、中には「おめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いします。」と丁寧におじぎをしてあいさつをする子もあり、子どもたちの今年もがんばるぞという意気込みが感じられ、清々しい気持ちになりました。



講堂で行われた始業式では、新年のあいさつの後、次のような話をしました。まず、3学期は、1、2学期に比べて1番短い学期であり、課業日を数えると、6年生は49日間、1年生から5年生までは52日間しかないが、1年間のまとめをし、4月の進級に向けて力を蓄えるために大切な学期であるので、一日一日を大切にしながらがんばるよう話をしました。次に、2学期の終業式の時に、「一年の計は元旦にあり」という話をし、元旦に1年間のめあてを立てるように子どもたちに宿題を出しておいたこと、また、そのめあてを達成するためには、弛まぬ努力がいることを「千里の道も一歩から」ということわざを例にとり話をしました。

子どもたちは、しっかり話を聞き、一人一人が、決意を新たにしてくれたことと思います。

一日一日が、子どもたちにとって充実した学校生活になるよう、また、希望をもって進級できるよう教職員が一丸となり尽力してまいりますので、ご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

〔2学期に成長したこと〕-2学期終業式に発表-

2学期の終業式の日、1年から6年までの各学年の代表の子どもたちが、「2学期を終えて」ということで、がんばったことなどについて全校の子どもたちの前で、立派に発表することができました。どの学年の子どもたちも、がんばったことについて、しっかりと発表していました。その中で、6年の代表の子の発表「2学期に成長したこと」を紹介します。

「2学期に成長したと思う点は、チ-ムワ-クの大切さをより知ったことです。5年生の時には、あまりチ-ムワ-クがよくなかったです。また、運動会も5年生までは、個人種目が多かったので、チ-ムワ-クのよさを知りませんでした。しかし、今は違います。10月に行った修学旅行では、けんかもなく、仲よく楽しく行くことができました。

運動会は、組体操で、ペアの人や全員の気持ちと努力でがんばりました。体育では、最近ソフトバレ-ボ-ルやバスケットボ-ルでチ-ムを組んだ時に、はじめは、あまりしゃべらない子ともチ-ムになって、しゃべらないのでチ-ムの心がまとまっていなかったけれども、次第にしゃべりだして、チ-ムの心がまとまってきました。そして、いつのまにか私は、クラスの子全員としゃべっていました。仲よくなってきました。何より一番チ-ムの子が、みんなを信じるようになってきました。

では、なぜ過去と比べてチ-ムワ-クがよくなってきたか、私が思うには、みんなが、チ-ムの大切さをわかってきて、チ-ムは大切だと意識しているからだと思います。何がきっかけでそう意識しているのか、これも私が思うことだけど、過去の失敗を反省して、次に活かしてみようと思うことがきっかけだと思います。



まだまだ、チ-ムワ-クがいることは、これからたくさんあると思うので、もっともっと成長していきたいです。そして、この成長を生かして、小学校生活最後の学期となる3学期をみんなと過ごしていきたいと思っています。」

2学期に素晴らしい体験をした6年生が、その体験を生かし3学期には、最高学年として下学年の手本となり活躍してくれることと思います。